

平成29年度 第2回中区協議会

会議資料

【協議事項】

- ア 中区地域力向上事業「第2種協働センターを核とした課題解決事業」「富塚土曜講座」について
- イ 中区地域力向上事業「第2種協働センターを核とした課題解決事業」「フォトロゲイニングで地域の魅力再発見」事業について
- ウ 平成28年度中区地域力向上事業の事後評価について
- エ 平成29年度中区地域力向上事業「区民活動・文化振興事業、区課題解決事業」について

平成29年5月24日開催

中区協議会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	□諮問事項 ■協議事項 □報告事項
件 名	中区地域力向上事業「第2種協働センターを核とした課題解決事業」 「富塚土曜講座」事業について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【背景】</p> <p>・平成28年度に富塚中学校区が、浜松市教育委員会から「コミュニティ・スクール」のモデル校として指定を受けた。</p> <p>【市民との協働】</p> <p>・地域住民が中心となり、定例的に富塚地域内で子ども達の興味関心を曳きだす生涯学習系の講座などを行う「富塚輝け・未来 土曜講座」を実施するなか、富塚協働センターにおいても事業趣旨に賛同し地域との連携を図りながら既存の子ども講座に加え親子で参加できる講座等を実施することでコミュニティ気運の醸成を図る。</p>
対象の区協議会	中区協議会
内 容	<p>○事業運営者： 富塚ドリームサポーター連絡協議会「富塚輝け・未来塾 土曜講座」との一体的な事業を実施するため、事業委託する。</p> <p>○事業内容： 文化講演会や芸術鑑賞会を地域一体となって実施することで、地域の連帯意識の醸成や文化向上を図る。また、親子で取り組む講座を実施することで温かな団らんのある家庭関係を育成し、地域をあげて子ども達の健全育成を図る。</p> <p>(1) 地域講座</p> <p>①文化講演会 「樹木医の活動を通して」 塚本こなみ 講師 7月1日 10:00-11:30 富塚小学校体育館</p> <p>②芸術鑑賞会「チェロリサイタル」 河田 祐太 講師 11月18日 9:30-11:30 富塚小学校</p> <p>(2) 親子参加講座 全8回</p> <p>①水泳講座 7月 原田 英俊 講師 ②地域発見写生会 8月 伊藤 治世 講師 ③防災キャンプ 8月 鈴木 基文 講師 ④走力アップ 9月 関上 洋靖 講師 ⑤秋の虫観察 10月 堀内 映 講師 ⑥天体観測 11月 白柳 健司 講師 ⑦正月飾り作成 12月 講師未定 ⑧料理講座 1月 小楠 佳子 講師</p>
備 考	協議結果を得たい時期：平成29年5月末日
担当課	中区区振興課（富塚協働センター）

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

地域力向上事業「第2種協働センターを核とした課題解決事業」

「富塚土曜講座」事業 概算事業費内訳書

区 分	概 算 額	備 考
講師謝礼	178,000	地域講座・親子講座の講師謝礼
役務費	46,000	講座開催案内チラシデザイン料、郵便料 レクリエーション保険
需用費	76,000	印刷、消耗品など
計	300,000	

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	中区地域力向上事業「第2種協働センターを核とした課題解決事業」 「フォトロゲイニングで地域の魅力再発見」事業について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に住んでいても取り立てて地域の名所・旧跡を訪れることが少ない中、「フォトロゲイニング」を開催することによって、地域の歴史・文化遺産に触れ、再認識する機会を生み出す。 ・高齢化が叫ばれ健康維持のために散歩・ウォーキング等が盛んに行われているが、地域の名所・旧跡の情報を提供することによって、楽しく趣向を凝らして散歩することができ、歩行距離が延び、体力の保持に貢献できる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが町文化誌・愛称標識等地域で発行した書籍が利用されず忘れ去られている。
対象の区協議会	中区協議会
内 容	<p>「フォトロゲイニング」の開催 (制限時間内に徒歩で、ポイントに指定された地域の文化施設・寺社等を自由にめぐり、その証明として写真撮影をしてくる。) 時間内に何か所廻ったかによって点数が付与され、順位が決まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所 西・県居地区周辺 県居協働センター ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・フォトロゲイニングの開催 ・地域の歴史・遺産を研究し、地図を作成する ・地域の歴史・遺産の写真撮影 ・ポイント設定の許可 ・作成した地図の配付 ・地域に関する講座の開催 ・参加者 西・県居地区住民 50チーム 最大 250人 (1チーム 2名～5名) ・その他 地域のボランティア団体 ・委託先 再発見事業実行委員会
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	協議結果を得たい時期：平成29年5月末日
担当課	中区区振興課 (県居協働センター)

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

(区課題解決事業)

概算事業費内訳書

区 分	概 算 額	備 考
委託料	300,000	再発見事業実行委員会
【内訳】		
報償費	60,000	参加者賞・賞品代 講師謝礼(7,000円×3回)
謝礼	15,000	協力団体(3団体)への謝礼
需用費		
消耗品	42,000	開催資材代など ゼッケン等
印 刷	80,000	募集チラシ、教材など 地図等印刷代
食糧費	60,000	うどん等材料代
役務費	18,000	郵便料
	25,000	レクリエーション保険
計	300,000	



フォトロゲイニング

500 m
1:10,000

フォトロゲイニング チェックポイント一覧

<p>1 東伊場遺跡</p> 	<p>2 大巖寺</p> 	<p>3 機関車</p> 	<p>4 県居小学校</p> 
<p>縄文時代終わりごろから室町時代までにわたる、古代集落の複合遺跡</p>	<p>遠江49薬師19番、浜松手引観音11番札所</p>	<p>軽便機関車でケ91タンク機関車が置かれている</p>	<p>大正9年に、濱松で5番目の小学校として開校</p>
<p>5 消防署発祥の地</p> 	<p>6 奥平信昌邸跡</p> 	<p>7 三組地蔵</p> 	<p>8 西部中学校</p> 
<p>浜松市の最初の消防署</p>	<p>家康の家臣で、長篠城を死守するなどの功績をあげた。</p>	<p>合掌した尊いお姿で優しいまなざしで人々を見守っている。</p>	<p>昭和22年に設置された</p>
<p>9 加茂真淵記念館</p> 	<p>10 灯籠坂</p> 	<p>11 根上がり松</p> 	<p>12 秋葉神社</p> 
<p>賀茂真淵翁の偉業を末永くたたえ紹介するための建物</p>	<p>県居神社に向かう坂道</p>	<p>根の部分が地面から盛り上がっている松。</p>	<p>家康が浜松城在城当時に修験者叶坊浄全に命じて北遠の霊山秋葉山より勧請させた神社</p>

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	平成 28 年度中区地域力向上事業の事後評価について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	—
対象の区協議会	中区協議会
内 容	平成 28 年度に実施した中区地域力向上事業の事後評価 (案) について、協議会のご意見を伺うもの。 ・ 助成事業 8 事業 詳細は別紙のとおり。
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成28年度 中区地域力向上事業 事後評価

■助成事業

事業名 実施者	事業内容	総事業費 【補助額】 (円)	採用 回数	中区 らしさ A(高い) B(普通) C(低い)	事業目的 の達成度 A(高い) B(普通) C(低い)	財政支援 の必要性 A(高い) B(普通) C(低い)	費用対 効果 A(高い) B(普通) C(低い)	評 価
1 2016はままつ初夏のジャズデイ 浜松ジャズ協会	街角での無料コンサートにより、ジャズの楽しさ、ライブの醍醐味を提供。「音楽のまち」づくりと街中のにぎわい創出に貢献するイベント。 【期間】5月15日 【場所】ソラモ、キタラ 【内容】浜松市内のジャズクラブ等に出演しているジャズグループがソラモ、キタラにて演奏を行い、街中のにぎわいを演出した。 【来場】約1,200人	386,547 [110,000]	1	A	A	B	A	○日中気軽にまちなかで上質なジャズを楽しむことができることで、ジャズ愛好家だけでなく、潜在的なジャズファンを会場へ迎え入れるイベントであった。 ○「音楽のまち浜松」として、市民の暮らしの質や豊かさを高めるものであった。また、来場見込人数を上回る来場があり、中心市街地の活性化が図られていた。 ○今後も、ジャズの魅力を伝えるイベントとして継続して開催することを期待する。
2 はままつハロウィンフェスティバル ハロフェス実行委員会	中心市街地の活性化を目的としたハロウィンのイベント 【期間】10月22日から10月31日まで 【場所】サザンクロス商店街／浜松駅北口キタラ 【内容】お化け屋敷(10/22～10/31 砂山町サザンクロス商店街)、サザンクロス商店街をハロウィン仕様に装飾、音楽ライブイベント(10/30 キタラ) ほか 【来場】9,447人	4,212,204 [1,120,000]	2	B	A	A	B	○浜松の若い力でハロウィンをテーマに浜松の魅力を発信するとともに、中心市街地の活性化に寄与するイベントとして企画され、今回はサザンクロス商店街を会場に加え、昨年(8,233人)を上回る来場があったことから目的は達成できたと認められる。 ○協力・協賛企業も昨年(135社)を上回る172社となるなど、全国規模のイベントを作りたいという強い気持ちが認められ、学生だけではなく、商店街や企業が一体となって盛り上げた点も評価できる。 ○全国的な盛り上がりを見せるハロウィンが、中区でも定着しますます盛り上がりていくことを期待する。
3 元城小学校閉校記念事業 元城小学校閉校記念事業検討会	元城小学校の閉校(H29.3月)記念事業 【期間】4月1日から3月31日まで 【内容】記念誌・校歌のDVDを作成し、学区内に各戸配布(3,000部)、閉校イベント(楽団・和太鼓・手筒花火等)の開催 ほか	5,526,760 [1,400,000]	1	A	A	B	B	○地域の中心であった元城小学校を記憶と記録に残し、世代を超えた交流の場を提供したイベントであった。記念誌、閉校イベントそれぞれに思いが込められ、目的が達成されている。 ○地域では、さまざまな場所でポスターが貼れており、地域全体の一体感が図られ、記念事業を通じて地域の結束が図られた。 ○今後も地域や人とのつながりを大切にする活動が継続されることを期待する。
4 富塚地区 市民の森と触れ合う会 特定非営利活動法人 地域創生支援事業団	認知症の高齢者との世代間交流事業 【期間】4月20日から12月19日まで 【場所】富塚地区 【内容】市民の森の清掃の後、笛掘りを行い、笛ご飯と節汁を試食。秋にはどんぐりを拾い、どんぐりポット作り、森の竹を使った棒パン作りを行った。 【参加】88人	648,266 [280,000]	1	A	B	A	A	○富塚地区の市民の森等を散策・清掃するという体験を通じて身近にある自然の大切さを感じ、講演会では「木はどのようにして生まれて生きる」と題し、改めて考える時間の提供がなされた。 ○また、竹を使った棒パン作りやさつまいもをメインとした食事を通じて子どもから高齢者まで世代を超えた交流が図られた。 ○身近な場所での自然体験、地域交流が実施されており、地域の子供たちが心豊かに育つための活動を今後も提供していただきたい。
5 Hamamatsu Dining Japan Food Culture プロジェクト	主に中区のレストランのシェフによる、はままつ食材を使ったメニューをワンコイン(500円)で体験してもらいイベント 【期間】10月10日 【場所】Hachikai(万年橋パークビル8階) 【内容】中区を中心とした飲食店19店舗が出店し、地場産品を使ったメニューを通じ、浜松の特産のPR及び地産地消の促進 【来場】約400人	650,400 [100,000]	2	A	A	A	B	○地産地消という言葉は知っているものの、浜松地域での食材について知る機会は少ないため、このイベントでは、野菜生産者等に協力を募り、生産者(農家)・調理人(プロのシェフ)・消費者(大学生等)が運営面を支えて活躍する場所を提供すると共に、市民へ浜松地域の食材を再認識する機会を提供している。 ○提案者は、今回のイベントを通じて、開催時期の問題や目指すべき方向性など新たな課題を持たれており、食を通じた更なる情報発信と人とのつながりが期待される。 ○毎年好評を得ていることから、継続による広がりを期待したい。
6 浜松 ホテルも棲める良い自然プロジェクト 榊フジヤマ ホテル自然プロジェクト	地元住民や元城小学校児童とともにホテルが棲める自然環境の構築及び環境教育 【期間】4月1日から2月20日まで 【場所】浜松城公園 【内容】浜松城公園内の水路を活用したピオトープ(生息空間)整備、ホテルの繁殖・放流会(信州大学・藤山名誉教授による支援・指導)、ホテルに関する講演会(藤山名誉教授) ほか	352,104 [140,000]	1	A	B	A	A	○地元の自然環境の構築に携わることで、自然への興味や地域への関心が高まり、ホテルを通じて皆に自慢できる地元をつくり出すイベントであった。 ○専門家の指導のもと、地元小学生、先生、PTA役員等の多くの地元の方が参加され関心の高さが伺え、今後の環境づくりの継続性が感じられる。 ○今の子どもたちが親になったとき、今回の放流を伝えられるよう、ホテルが育成する環境を継続して整えていく活動や現在地以外での開催など活動の広がりにも期待する。
7 ASIA MUSIC FESTIVAL 株式会社 はまぞう	インドネシア人、ベトナム人、タイ人との交流を目的とした音楽イベント 【期間】5月22日 【場所】ソラモ 【内容】インドネシア等から著名なアーティストを招いてのライブコンサート、在住外国人によるJ-POPカラオケ大会、各国のご当地グルメの出店 ほか 【来場】約15,000人	4,498,871 [1,000,000]	1	B	A	B	A	○ソラモでのライブコンサートと当日の天候にも恵まれ、目標(3,000人)を大幅に上回る入場者があり、中心市街地のにぎわいが創出された。 ○多くの在住外国人の来場があり、各国のグルメが提供されており、ソラモが国際色豊かな空間に演出されていた。 ○外国人アーティストによる演出の需要が、在住外国人にあることを再認識できるイベントであった。 ○Webによる告知のみで県外からも多くの集客があったことから、浜松を代表するイベントとなるようことを期待する。
8 第10回やらまいかミュージックフェスティバル in はままつ やらまいかミュージックフェスティバル実行委員会	ジャンル、プロ・アマ、国籍、年齢、居住地を問わない「音楽の浜松まつり」 【期間】10月8日から10月9日まで 【場所】JR浜松駅周辺 【内容】353組のミュージシャンによるライブ演奏、第10回目を迎えての特別企画・ステージの増設 ほか	12,469,003 [1,500,000]	1	A	A	B	A	○節目の10回目を迎えた継続の事業であり、多くのミュージシャンと市民が集い、まちなかのにぎわいを演出する「音楽のまち浜松」の一大イベントに成長している。 ○浜松市中心街30ステージにて、各種音楽ライブ等を開催。吹奏楽、合唱、ジャズ、フォーク、ロック等により音楽でつながるまちづくりを演出。 ○音楽による地域活性と音楽による人とのつながりを構築するイベントであるため、今後の活動に期待する。

地域力向上事業 事後評価のポイント

以下の項目に照らして評価を実施する。(A：高い>B：普通>C：低い)

1) 中区らしさ

事業の実施にあたり、中区固有の人材、資源などを活かしたか。より発展、強化させることに繋がったか。

2) 事業目的の達成度

提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。

3) 財政支援の必要性

市が補助金を支出して支援を行う必要性

(財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか)

4) 費用対効果

事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、

「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

区協議会または区行政推進会議で出された意見を記載する。

事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	平成 29 年度中区地域力向上事業の「区民活動・文化振興事業、区課題解決事業」について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	—
対象の区協議会	中区協議会
内 容	平成 29 年度中区地域力向上事業の「区民活動・文化振興事業」及び「区課題解決事業」の実施にあたり、協議会の意見を伺うもの。 詳細は別紙のとおり。
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成29年度 地域力向上事業（区民活動・文化振興事業、区課題解決事業）一覧

■区民活動・文化振興事業

新規 継続	事業名 担当課	現状の課題、事業の目的	事業の概要	事業費
新規	中区地域資源発掘事業～鷹野つぎと 明治の浜松・中区 区振興課	<p>●鷹野つぎは、浜松市中区尾張町出身の作家である。浜松の文化史において確固たる地位を占めているが、その著作物は絶版であり、簡単には手に取れない。</p> <p>●「四季と子供」は、明治期の浜松の四季の推移と行事、自身の子供時代の回想が書かれており、鷹野つぎの著作中で最も優れているとされるものである。これを復刻することにより、郷土（中区）の偉人の業績を広く伝えるとともに、明治期の浜松の風俗資料を今に伝えていく。</p>	<p>●中区出身の作家「鷹野つぎ」の著作「四季と子供」を復刻用に再編集し、出版する（1,000冊）。</p> <p>●平成28年度実施の文芸大・市立高校協同プロジェクトの成果を取り入れ、「四季と子供」に描かれた明治期中区の地域資源を紹介する記事を作成し、出版後には広報中區版に掲載する。</p>	2,742千円
継続	人形劇を活用した子ども育成事業 まちづくり推進課	<p>●協働センターという身近な場所で「人形劇の魅力」に触れる機会を提供することにより、心豊かな人格形成に寄与することを目的とする。</p>	<p>●乳幼児向けの親しみやすい人形劇公演及びワークショップを開催する。</p> <p>●9月から10月にかけて、中区の協働センターを会場（3協働センターを予定）として、浜松市人形劇協会により、区内の乳幼児（1～3歳児）とその保護者を対象に、人形劇の実演及び人形製作体験を実施。</p>	120千円
継続	小・中学生による「キッズ・ダンス 講座」事業 まちづくり推進課	<p>●学習指導要領の改訂により、平成24年度から中学校においてダンスが必修化（中学1・2年は必修／中学3年は機械運動等から選択）となった。</p> <p>●ダンスを始めたいがきっかけがない、又はやったことがないなど不安を感じている中学生や、今後、ダンスの授業を受けることになる小学生にあらかじめダンスの魅力を知ってもらう。</p>	<p>●ダンス未経験者やこれから始めたい小・中学生を募りダンスレッスンを実施し、ソラモにて発表の場を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスレッスン：約10日間（クリエート浜松） ・発表イベント：「ソラモ」にて実施 	2,500千円

■区課題解決事業

新規 継続	事業名 担当課	現状の課題、事業の目的	事業内容	事業費
継続	「交通事故ワースト1脱出」啓発事業 まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> ●浜松市は交通事故が多く、人口10万人あたりの交通事故件数が政令指定都市の中でワースト1（7年連続）である。事故の特徴は、交通量の多い朝・夕の通勤時間帯に約4割が集中していることである。 ●平成27年の中区の事故は2,920件と、浜松市7区の中で一番の多さであり、特に死亡事故は高齢者が犠牲になる傾向（8人中4人）がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度改訂「中区交通安全の手引き」の増刷 ●高齢者向け交通安全教室開催（6月から月2回、年間20ヵ所） ●小学生を対象とした交通安全教室の開催（1回） ●外国人向け交通安全教室の開催（4回） ●イベント内交通安全コーナー（協働センターまつりなど）の出展 ●中区内全自治会への啓発のぼり旗とポールの配布をする。 	1,675千円
新規	1歳児集まれ！はますく おめでとう 広場in中区」 健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ●1歳頃は、乳児から幼児への移行期であり、健康的な生活習慣を確立するための大切な時期である。 ●1歳6か月児健康診査では、個別の栄養相談を希望する保護者が多く、全受診者の4割近くに達することがある。 ●個別相談を希望する人は多いが、対応できる人数や時間に限りがあるため、全ての相談に対し細やかな対応がとれていない。 ●相談内容には保護者の知識不足によるケースが多いため、望ましくない生活習慣が定着してしまう前に、健康的な生活習慣についての知識を広く普及する機会が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1歳児とその保護者を対象に、1歳頃の望ましい食事や生活習慣、子どもとの遊び方等の講話を実施する。 ●身体計測及び個別相談の実施や、手形・足型作成、親子撮影スペース、親子体操、パネルシアターなどのブースを設け、成長を喜び祝う機会とする。 ●会場：中央保健福祉センター（年3回） 	448千円
新規	シンポジウム（仮）認知症について 語ろう！考えよう！未来に向かって ～中区徘徊高齢者早期発見事業～ 長寿保険課	<ul style="list-style-type: none"> ●超高齢化社会を迎える2025年に向け、認知症の方や抱える家族の増加が見込まれる。 ●中区では、平成27年度にオレンジシールの事業化を提案し、平成28年度には、認知症の理解を深め、対応力向上を目的として認知症の取り組みの現状を可視化したDVDを作成した。 ●認知症の徘徊による行方不明や地域の意識と対応力を上げる取り組みは未だ不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の理解・対応力を高めるためのシンポジウムを開催する。 ●認知症への理解を深めるためのDVDの配架をする。 ●会場：福祉交流センター ホール 	900千円